

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students

プロフィール (Profile)

氏名	斉藤 悠晟
所属	生命環境科学研究科 応用生命科学専攻
学年	M2
留学先	台湾國立成功大學
留学期間	2022/9/1~2023/1/31



留学レポート Study Abroad Report

生理活性物質化学研究グループ M2 の斉藤悠晟です。僕は台湾国立成功大学の Institute of Tropical Plant Sciences and Microbiology (ITPM) という研究科に半年間交換留学しました。もともと 2021 年の夏から一年間の留学予定でしたが、コロナウイルスの影響により半年間延期しました。留学を志して以降の体験について、以下に記載致します。

① 留学に至るまで

B3 の夏に台北で行われた台湾と日本の学生交流会に参加した時、台湾の方々のホスピタリティや台湾の観光地としての楽しさを体感しました。また、台湾に留学している日本の大学生が生き生きとしている様子を見、うらやましいと純粋に感じました。それを機に台湾への留学を志すようになりました。中国語の勉強過程で、中国でも良いと思うようになりましたが、当時大阪府立大学の協定校として、台湾に成功大学、淡江大学、台湾師範大学、中国に華東理工大学があり、4 校中、僕の専攻である天然物化学に近い学問が学べるのは成功大学のみであったため、本校への交換留学を志望するようになりました。台湾にはトップ 4 の国立大学群があり、成功大学はうち 1 校に数えられる大規模総合大学であるため、この環境は僕にとっても良いものであるとも考えていました。僕は英語の勉強に前向きではなかったため、当時既に取得していた TOEIC の成績で基準を満たす学科に行きたいと考えていました。ITPM は数少ない TOEFL や IELTS を要せず、TOEIC 750 程度が要件だったため、ITPM にしました。専門分野としても最も親和性があり非常にラッキーでした。その他の準備として、中国語能力検定に当たる HSK を取得しました。成功大学側としては応募資格に定めていませんでしたが、国際交流課様から 4 級以上は欲しいという風に伺ったので、とりあえず 5 級だけ取得しました。ITPM は募集枠が 1 人だったこともあり、できることは全てやっておこうと考えて、志望理由書や研究計画書、卒業論文などは全て中国語・繁体字で記述・提出しました。

② 留学準備～成功大学入寮

半年間のオンライン留学では、僕は 1 つの授業のみ、履修しました。次の学期もオンライン留学を覚悟していましたが、秋学期が始まる 1 カ月半前に突然、8 月から台湾への入寮が許可された旨のメールが送られてきました。僅か 1 カ月程の準備期間でしたが、成功大学側も諸々の手続きを急いで進めてくださいました。入寮許可の取得に最低 8 日間かかることを、僕のフライト予定日が 7 日後であることを伝えると、フライト日の前日に間に合わせてくれました。かなりメール上でやりとりをし、要望がある場合は遠慮なく伝えていました。無事に入寮出来て以降は合計 8 日間の隔離がありました。隔離生活中、特に困ることはなく、却って新鮮な経験ができました。入寮に関しても特に面倒はなかったため印象は薄いです。

③ 留学生活

成功大学が所在する台南は田舎だと聞き、生活の利便性に不安を感じていましたが、実際は特に大学近辺での生活に不便はありませんでした。僕は留学中は研究室に所属せず、好きな授業を受講することにしました。シラバスを比較し、面白そうな授業を選び履修しました。

1. 授業や教員

授業を通しての全体的な印象として、教員と学生の距離が非常に近く、教員が非常に熱心であることです。研究所に挨拶に行った際、教員が嬉々として僕を連れて多くの教員を紹介してくださいましたが、柚子や月餅、台南付近のカフェをまとめたパンフレットなどをくださりました。研究所長とも 1 時間近く立ち話しました。他

